

# 冷暖自知

題字 冷暖自知 揮毫 北宇和教育会OB 三輪 寛明 解説は3面



発行所  
（公財）愛媛県教育会  
〒790-8545  
松山市祝谷町1丁目5-33  
エスポワール愛媛文教会館内  
電話 (089)945-8644  
FAX (089)945-1459  
E-mail info@chime-kyouikukai.jp

- (2) 学校紹介 大三島中学校
- (3) 地区教育会だより（東予周桑）
- (4) 特集 私の挑戦ー今、頑張っていることー
- (6) 道徳教育推進事業指定校 研究の概要
- (8) 愛媛県教育会俳句募集

## 幸せの種を蒔くこと



松山市小中学校PTA連合会顧問  
（料理研究家・作曲家）  
中村 和憲

一本の電話から始まったPTA活動。それまで行事の時にしか行く機会がなかった学校に、普段から足を運ぶようになりました。「平日の学校」の素敵な光景にたくさん出会い、年々思いを深くしながらいつの間にか十三年の歳月が流れています。子どもたちの幸せのために思いを同じくするたくさんの方々との出会いに恵まれ、本当に大切なことに気づかせていただいた日々でした。子どもたちに真摯に向き合うことは未来をまっすぐ見つめること…誰もが願う幸せへの道しるべがそこにあります。

「意味わからん！」この言葉も同じなのです。実は脳が二度目の進化を始める十代はそれまでのように「結論」だけを伝えても納得できなくなり、物事の「意味」を知りたくなる。「反抗期だから」というわけではないのです。ではなぜ子どもたちからこのメッセージなのでしょか？ それは社会の背景の違いだと感じています。世の中が成長社会だった私たちの世代は「頑張っていれば」未来が拓けて見えた時代。「なぜ勉強しなければならぬか？」「なぜ？」とどうして？」と思ったこともその後の「人生というワークシヨップ」の中で時間をかけて意味を理解してきました。一方、今は成熟社会。頑張っ

たことが目に見えにくい時代です。だからこそ子どもたち自身がリアルタイムで物事の意味を考え、気付くことが人生を切り拓く力になる鍵だと感じるからなのです。そして最も気付いてほしいと願うこと、それは「命の意味」。命そのものが奇跡であること、一人ひとりがどんな素晴らしい存在であるのか。多くの人のつながりの中でこそお互いに気付ける自分の中にある素晴らしさ。全ての子どもたちにとって平等な機会であるそれは、学校という場所の素晴らしさだと思います。私たちが関われる時間は子どもたちの人生の中のほんの一部にしかすぎません。答えが出るのはずっと先。しかし、幸せは「種」なのです。一人ひとりの中にあるその種を「育てる」ということに巡り合えた幸せに感謝しています。

### 一 略 歴

（なかわら・かずのり）  
小中学校でのPTA活動も十二年。「台所は幸せを作る場所」と食の視点から子どもたち自身に未来を拓く力につながる食育・職育に取り組む。県内外で「命」を主題とした食育・人権・子育て等の講演も多数。また、作曲家として多くの楽曲制作に携わり、言葉と音楽で綴る朗読ライブでは舞台俳優と表現することの素晴らしさを伝えている。

### 響き

入学式シーズンである。子どもたちは新たな希望を胸に入學してくる。新入生を迎え、「伝統や校風」を創造することについて再考してみたい▼

「教育することをためらってはならない」と大相撲の外国人力士から学ぶ」と題する論考（目白大学小林福太郎教授）に横綱白鵬がインタビューで、「相撲は文化であり、伝統であります」と答え、当時大関であった鶴竜が土俵では勝った喜びを現さない理由を「相手への礼儀であり、思いやりです」と答えたということが紹介されていた▼小林先生は「私はこの時、両力士が激しい稽古とともに、日本の国技である大相撲を担う力士として、幾多の厳しい教育を受けてきたことを直感した」と感想を述べられている▼文化を受け継ぎ、創造を加え伝統として発展させていくことは、決して容易なことではない。対象の本質をきちんと理解するとともに、創造するための並外れた叡智や努力が必要である▼そして、それを可能にする唯一の手立ては、小林先生がおっしゃっているとおりの教育の力に他ならないと思う。

ひとこと

白いかおりの島へ



愛媛県教育会 評議員 新谷 和志

♪青い海がある かもめがとんでいる  
 ♪白い砂がある 裸足で来ませんか  
 ♪春の瀬戸内 島から島へ  
 ♪船を走らせ めぐつてみませんか  
 ♪レモン・伊予柑 みかんの花が咲いて  
 ♪島はいいかおり さわやか花ざかり

松山市の中島に向かうフェリー・高速艇に乗ると、船内放送でこの「白いかおりの島へ」が流れてくる。この曲を歌っているのは、あの演歌歌手の坂本冬美さんであり、平成元年実施、旧温泉郡中島町の町おこし事業「ふるさとばんざい祭り」のイメージソングである。

その頃、冬美さんはデビューして三年目で、活躍中であつた。その来島をきっかけにして、今までに四回中島を訪問していたのだ。そして昨年十月、この「白いかおりの島

へ」の歌碑除幕式のため、五度目の来島を果たされた。

冬美さんは、中島を第二のふるさとと言ってくださる。中島に生まれ育った私にとつては、何よりも嬉しく有り難い言葉である。

十年前、中島町が松山市との合併で閉町する時、そのことを伝え聞いた冬美さんは、閉町記念の行事に無報酬でステージに立たれた。そして、私たち島民を励ましていただいた。私は、歌手坂本冬美というより、人間味あふれる彼女のすばらしさと思った。そして、彼女の歌うすべての曲は、人生の応援歌として聞こえてくる。

この「白いかおりの島へ」の歌碑の隣に案内板があり、その最後に、『この歌の歌詞にあるような「明るい笑顔の花が咲く」島がこれからも続くことを願って、この歌碑をつくりました』とある。

私は、地元の教員として、ふるさと学習をおして、島の子どもたちとともに、冬美さんに誇れる島づくりを続けたい。

(松山市立中島小学校長)

学校紹介

No.158

今治市立大三島中学校

そして誰もいなくなったが、「白壁」は残った。

平成二十六年度末をもって、愛媛県の最北端の地にあった大三島中学校は、四十四年間の歴史を閉じました。

本校は、我が母校であり、教員として通算十五年間お世話になった学校でもありました。寂しさは人一倍強かったのですが、母校の閉校に直接携わることができたことは幸せでした。

年度末の二月ともなると、廊下にあった物が次々と統合校に移され、後には長い廊下と「白壁」だけが残されました。でも、私が一番持つて行きたかった物、それは、この「白壁」でした。

本校では、四十四年間、清掃に力を入れて取り組んできました。特に、この白壁への思いは特別でした。私が中学生の頃は、週に一回、クラス全員で、教室の白壁を各自の消しゴムできれいに磨いてい



した「Nのために」というドラマのスタッフの皆さんも一緒に白壁を褒めていました。

実は、あまり目立ちませんが、せんが、応接室の前の壁には、一か所、直径3cmほどの下地が見えている部分があります。私のクラスの生徒が力を入れて磨きすぎ、下地が出てしまったのです。この時は、

その後、生徒会が中心となった「SK(しらかべ)運動」として取り組んでいた時代もありました。

ですから、本校の「白壁」は、開校以来、色を塗り直すことなく、白色を保ち続けています。(昨年、本校で撮影

学校という空間ではなく、「白壁」という校舎そのものに思いがある学校は、県内でも多くはないと思います。大三島中学校は、そんな学校でした。

今、大三島中学校には誰もいなくなりました。でも、「白壁」はいつまでも光り輝いていることでしょう。

(教頭 越智 秀雄)

題字に寄せて

冷暖自知



北宇和教育会 OB  
三輪 寛明

この「冷暖自知」という語句は、『景德伝灯録』の中にある、もとは「人の水を飲みて冷暖自知するがごとし（人が水を飲んで、冷たいか暖かいかわかるのと同じである）」と同じです。つまり、自分が直接水を飲むではじめて、その冷たさや暖かさが実感できるように悟りの体験もそれを得た本人にしかわからない。そんな意味を持つ禅語です。このように、実際に経験しなければ、大切なものは手に入らないし実感できない、という教えはとても説得力があります。どんな場合でも、頭でっかちになりすぎないように気をつけることが大切です。― 禅語吉語辞典より―

地区教育会だより

東予周桑教育会 二人三脚



東予周桑教育会 会長  
森川 護

他の市町とは違った東予周桑教育会の活動をあげてみます。それは、常に「周桑教友会」と二人三脚で歩んでいることです。昭和二十一年、県教育会が戦後の諸事情により解散していた頃の昭和三十三年に、教友会は誕生しました。昭和四十一年に県教育会が再生された時、県下各支部の組織づくりに中心的な役割を果たしたと聞いています。教友会はOBのみの会で、OBのほとんどが両会に加入しており、会誌「教友だより」は何と、半世紀を越えて五十二号を数えています。大先輩の方々のご意見やら近況を知ること、これからの指標にすることが出来ます。また、会員の作品展が続けられており、素晴らしい作品群に魅せられています。

す。囲碁将棋大会、文化財巡り、高齢者慶祝訪問、文化講演会等は共催で実施しています。昨年度の文化講演



会は、県総合科学博物館から川又明德氏をお迎えし、貴重な南極での体験談を聞かせていただきました。余談ながら、氏は私が中学校の教員をしていた時の生徒で、このように立派になって活躍している姿を見るのは、教師冥利に尽きるというものです。教友会の理念「親睦と融和」そして、「周桑は一つ」の思いは、教育会にも通じるところがあり、合併十年を過ぎた西条市にあつて、今なお東予周桑教育会として存在している一因かもしれません。

ローカルトピックス

語り継ぐべき戦時遺産

八幡浜市役所から歩いて十分ほどの場所に、時間が止まったかのような空間がある。

入口の上部には、白タイルに八幡濱第一防空壕の文字。四国で最初に造られた本格的な防空壕として紹介されている。昭和十五年に起工、翌十六年二月に竣工。戦況の悪化を予測していたのだろうか。まだ空襲もない時期に、八幡浜警察の発注によって建設された珍しい防空壕らしい。

壕内は、天井がかまぼこ型で、二メートルほどの高さ。爆風を避けるため、クランク状になった通路や長期避難にも耐えうるトイレや洗面所の完備など、あらゆる工夫が施されており、その完成度の高さに驚く。必見の価値あり。

狭い路地を進むと、見落としてしまいうようなほひっそりとしたずんであるこの防空壕は、平成十三年、貝ボタン工場跡地から発見され、現在に至っている。最近、3D実測調査が行われ、歴史的価値も確認された。戦後七十年が

経った今、「もの言わぬ語り部」として、保存に向けた動きが一層高まっている。



文教月報編集協力委員  
八幡浜市保内中教諭 宮本 由美

教育の振興を目指す！  
日教弘の「3大事業」  
教育振興事業（奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業）  
福祉事業  
共済事業（提携保険事業）  
公益財団法人 日本教育公務員弘済会愛媛支部  
〒790-8545 愛媛県松山市祝谷町1-5-33 エスポータル豊後文教会館内  
TEL (089) 932-8358 FAX (089) 932-8357

# 特集 私 の 挑 戦 — 今、頑張っている人々 —

## 書を楽しむ



新居浜教育会 OB  
佐々木 鈴子

書道を始めたきつかけは、魅力的な美しい字を書かれる師匠の高橋遊衍先生に出会ったからだ。すぐさま入門し、十七年経つ。夢中で書いていた頃が懐かしい。とんとん拍子に昇級・昇段し、嬉しかった。筆を持って白い半紙に向かう時は、無心になれて、幸せを感じていた。しかし、今は、ずっとスランプで気が重い。字形にとらわれすぎて腕が全然動かない。書は線そのものが命・芸術といわれている。線質と余白がいかに大切か。線をどのように表現するかが課題である。

二年前、新居浜教育会の土曜寺子屋教室の「書を楽しむ」の講師になった。先輩の横山泰茂先生と一緒に子どもたちを指導している。教室は、基本の運筆練習から始まり、次に漢字を楷書で書き、そして、細字百二十字を書き写し、かな五十音で終わる。時間一杯、真剣に取り組んでいる。大した集中力であり、私は感心する。「このたて画上手だね。」「バランスとれてすばらしいね。」と誉めたり、「この線はもう少し太めで長く書いてね。」と助言したりする。条幅や色紙にも挑戦し、作品には、自分で彫って作った落款を押す。子どもたちは満足感にあふれている。作品には、一つ一つに味があり、のびやかさや思い切りの良さが感じられる。

原稿を書くにあたって、書道の奥深さを再認識し、課題解決という目標ができたことに感謝したい。書を楽しむ気持ちに感謝したい。書を楽しむ気持ちに感謝したい。書を楽しむ気持ちに感謝したい。書を楽しむ気持ちに感謝したい。

## 挑戦を続けて



西条市西条西中  
教諭 夏末 平田

私はとにかく演奏することが好きだ。幼稚園の頃に始めたピアノもすっかりはまりこんでずっと続けている。そんな私が打楽器と出会ったのは中学生の頃。マリimbaと呼ばれる大型の木琴を叩きこなす先輩の姿に憧れてはじめていたが、今年で丸十五年続けている。高校・大学でも迷わず吹奏楽に入り（希望通りにパートが決まらないことが吹奏楽ではしばしば起こるが）、運よく打楽器を続けることができた。これはある意味運命であると感じている。

## 走ることを楽しむ



小音福山市  
教諭 池田 丈晴

今、挑戦していることは、打楽器の楽しさを伝えることである。「叩くだけで音が鳴る。」こんなシンプルな楽器が他にあるだろうか。それらの面白さを伝えていきたい。演奏を聴いてもらい、いろいろな人に楽しんでもらいたい。これからも演奏活動は続けていく。

最後に、いつも一緒に演奏してくれるメンバーへ（もしこの記事を読んでいるメンバーがいれば）、感謝の意を伝えたい。個人的に愉快なメンバーたちには、とても感謝している。いつも一緒に演奏してくれて、ありがとう。

ここ数年の楽しみは走る事です。ランニングがブームと言われて久しい昨今、乗り遅れまいとしたわけではありませんが、ひよんなことか

ら、長短とりませ県内外のいろいろな大会に参加し、凡記録を出しては完走証やメダルをもらって喜ぶようになりました。

山間や離島のこぢんまりした大会はそうでもないことも多いのですが、大都市を走るメガな大会は、ネットでのエントリーも時間との戦いです。回線が混雑して、つながるまでに規定の人数が埋まることもしばしば。抽選で当たらないとエントリーできない大会も多く、運も大きな要素です。半年も前から苦勞してエントリーし、お金を払って数十キロの道のりを走りたい人が世間にはたくさんいることを実感します。そんなわけで、難関を乗り越えてエントリーできた際には心の中で小さくガッツポーズです。

純粹に走ることだけを目的にするなら、家の周りをぐるぐる回ればいいでしょう。気分転換でき、快眠快食、体力維持の実感も得られると思います。でもそればかりでは何かもの足りません。

大会への参加で感じるのは、人のありがたさ、温かさ

です。交通機関や宿泊施設、運営スタッフや沿道の応援者まで大勢の人の思いを感じ、支えられながらランナーは走っています。そうした気持ちのやりとりをまた味わうために日々走ることに。それが私のささやかな挑戦です。

### 愛顔つなぐえひめ 大会に向けて



川中 和希  
大洲市教諭  
佐相 和希

平成二十九年、全国障害者スポーツ大会「愛顔つなぐえひめ大会」が、愛媛で開催される。全国障害者スポーツ大会は、国民体育大会終了後開催され、障害者の社会参加の推進や障害者へ理解を深めることを目的としている。私も前身である全国身体障

害者スポーツ大会福島大会に平成七年水泳と陸上の選手として、平成二十二年千葉大会に水泳の選手兼監督として出場した。大会では大歓迎を受け、地域の方や選手たちと交流を深めることができた。初めて出場した福島大会では水泳部の顧問を務め、生徒と共に練習した。足が不自由になり、落ち込んでいた私が、水泳によって自信を深めることができた。

今五十歳。体力の低下とともに、練習不足で、年々自己記録も落ちていく。部活動の指導や地域の水泳指導に追われ、自分の水泳練習はあまりできていない。大会前に少し泳ぐ程度で、他の水泳大会に出場してきた。今年度、全国障害者スポーツ大会長崎大会で、私が持っていた二五メートル背泳ぎの大会記録が破られた。

地元で開催される愛媛大会では、その選手と戦いたいと思っているが、今のままでは勝負にならない。まずは練習時間をつくり、泳げる基礎体力をつけたいと思っている。今の自己ベストを出すことができるよう、生徒たちに自分の勇姿を見せられるよう頑張りたい。二年後に向けて徐々に進行している。

### 英会話教室



八幡浜教育会OB  
小西 基次

退職して二年目、現在の市の嘱託として常勤の仕事をしている。出勤時間こそ遅くなったが、以前と余り変わらない生活リズムで（このまま何となく終わってしまいたいような気がして）、何かないかなと思っていた時、広報やわたしはま九月号の『英会話教室受講生募集』の記事が目に入った。「月二回、計十二回、これだ！」と思った。早速、中級者コースに申し込んだ。一回目、待ち遠しくはあつ

たが、近づくにつれ緊張が増した。そしてその日が来た。まずは自己紹介。どうにかクリアした。それにしても周りは皆さんペラペラの様子。正に中級者、やっぱり初級にすればよかつたとその時思った。しかし、時既に遅しであった。

そういう私だが、（白状すると）若い頃例外で英語の指導を何年かした。よくやれたなど今では思うが、当時生徒から質問が出たら、「アメリカ人がそう言っているから。」で通していた。それも、それを言う専属の生徒をつくっておき、彼を指名してそれを必ず言わせていた。

やり方はともかく、このことは今も正しいと思っている。先生の発音をとにかくまねること、何度も何度も声に出してまねること。

今回は生徒の立場、このことを肝に銘じ、更になら楽しもうと、月二回のレッスンに通っている。

この原稿が載るころには講座も終了しているはず、私の英語力がどこまでになっているか、少し楽しみである。

### 祝 受章おめでと〜うございます

◆瑞宝双光章（高齢者叙勲）

- |        |     |                 |     |
|--------|-----|-----------------|-----|
| 永井 一見様 | 88歳 | 元越智郡朝倉村立下朝小学校長  | 今治市 |
| 田中 久雄様 | 88歳 | 元北条市立粟井小学校長     | 松山市 |
| 倉田 昭尚様 | 88歳 | 元南宇和郡内海村立柏小学校長  | 松山市 |
| 松浦 龜様  | 88歳 | 元北宇和郡松野町立松野中学校長 | 鬼北町 |

## 積立年金制度

明治安田生命は、みなさまとのよりよいコミュニケーションづくりに  
全力をつくしてまいります。

(制度引受幹事会社)

## 明治安田生命

四国公法人部 〒760-0017 高松市番町1-7-5  
法人営業部 TEL087-821-6811

## 一生涯のパートナー

## 第一生命

第一生命保険株式会社 松山支社

〒790-0002 愛媛県松山市二番町3-5-5 松山二番町第一生命ビル5F  
Tel 089-941-0147(代) 受付時間 平日午前9時~午後5時

### 道徳教育推進事業指定校 研究の概要

今治市立別宮小学校・久万高原町立美川中学校

文部科学省の委託事業である「道徳教育の改善・充実に係る支援事業」の一環として、小・中学校各三校、計六校が県教育委員会より研究指定を受けて昨年一〇月から一

二月にかけて研究発表会を行い、二年間の研究成果を発表しました。その中から、小中一校ずつ研究の概要を紹介していただきます。

言動をとり、友達とトラブルを起こしやすい児童もあり、児童の自制心や規範意識の希薄化が大きな課題である。

そこで、道徳の時間を中心に、教育活動全体で規範意識や信頼・友情を高める道徳教育を推進することで、児童一人一人が様々な事象を道徳的価値観に基づいて正しく判断し、互いに伸びようとする道徳的実践力が育つと考え、本研究主題を設定した。

#### 今治市立別宮小学校

教諭 繁信 亮二

#### 一 はじめに

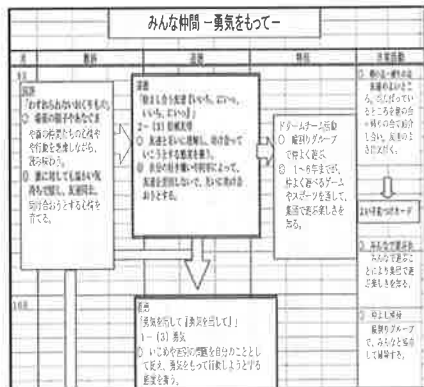
本校は、去る平成二十六年十一月六日に研究発表会を行った。その概要を紹介する。

#### 二 本校の研究主題

研究主題は、「正しく判断し、力を合わせてともに伸びようとする児童の育成」である。

本校の児童のおかれている生活背景は複雑であり、基本的な生活習慣を身に付けさせることが困難な家庭が増加している。また、自己中心的な

合単元的な道徳学習（左図）を位置付けた。



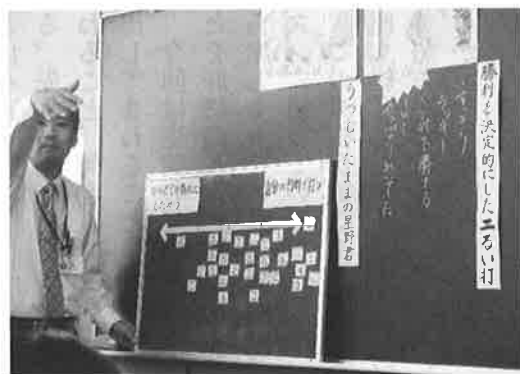
#### 三 研究実践の内容

##### ① 指導計画の見直しと改善

児童や学校、地域の実態や保護者の願いを把握するためアンケートを実施した。それを元に「公德心・規則の尊重」「友情・信頼」に焦点を当てた重点目標や重点内容項目を設定するとともに、それが達成できるように計画の見直しを行った。また、重点目標から、学期に一つの総合テーマを設定し、道徳の時間と他の教育活動との有機的な関連や体験活動を生かした「総

##### ② 道徳の時間の指導の工夫

五年生では、「星野君の二塁打」という資料で、公德心・規則の尊重への価値観を高めさせる授業を行った。線分の両極に葛藤内容を提示し、線分上のどこに自分の考えがあるか「価値のチップ」を置いて表現させる手法を取り入れた。本時は、監督の指示通りバントをするか、自分の判断で打つかで児童の思いをチップで表現した（右下写真）。



③ 生徒指導を通して行う道徳的習慣の形成への取組

まず、「社会的自律」の育

成に向けて、下駄箱の靴の入れ方や筆箱の中身、雑巾のかけ方、ゲームやカードにま

で徹底を図り、「学校のきまりを守る」ことができる人間は、社会のルールも守ることができるとなる。という方針で児童の規範意識の育成に取り組んでいる。

また、「自己指導能力」の育成に向けて、朝や帰りの会で、生活目標の反省を行い、その結果を生活安全委員が全校へ知らせ、生活の見直しをうながしている。二五年度後半からは、チェック表に児童が考えた目標を盛り込んで、主体性や自主性を生かす工夫

をされている。四 おわりに 二年間の研究を通して、教職員の道徳教育に対する意識が高まり、意欲的に指導の工夫を行うことで、道徳の時間の指導力が向上し、児童の道徳性の育成が図られた。

また、生徒指導の機能を生かして、道徳性を生活の場で具現化できるように環境づくりをすることで、児童の道徳的実践力が身に付いてきた。今後も継続して実践していきたい。

■文部科学省検定 小学校・中学校・高等学校教科書 ■副読本・教育用図書・参考書 ■デジタル教科書・教材

未来をになう子どもたちへ 日本文教出版

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5 TEL:06-6692-1261 東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16 TEL:03-3389-4611

http://www.nichibun-g.co.jp/

久万高原町立美川中学校

教諭 仲田 昌司

一 はじめに

本校は、研究主題を「自尊感情を高めるとともに、互いを尊重する心を持ち、響き合い高め合う生徒の育成」と掲げ、研究を推進した。

特に、今年度は、「自己存在感を感じさせること」「自己決定の場を設定すること」「共感的人間関係を基盤とすること」の三点にベースを置き、研究推進の方向性を見直した。そのため、自分の思いを語ったり、友達の考えに耳を傾けたりする活動である「交流活動」と「振り返り」をあらゆる場面に取り入れることを重視し、響き合い高め合う生徒を育てていこうとした。

二 特色ある取組の概要

【道徳の時間の充実】

「道徳の時間」において、ねらいにせまる授業を展開するため、資料分析の仕方や中心発問の作り方、資料の朗読方法等について、講師を招き校内研修を重ねた。

これらを生かして、よりよ

い中心発問等を構想するための「資料分析ワークシート」を工夫し、学年部体制による資料検討会を実施した。複数の教職員で取り組むことで客観的・効果的な資料分析ができると考えたからである。



また、生徒同士の考えの交流を重視した本校の「道徳の時間」授業モデルを作成した。この授業モデルに基づいて授業を行うことで、「中心発問」後の交流活動場面で、生徒の「語る」「聴く」機会を確実に確保し、ねらいにせまる授業を展開することができた。

【感動ある学校行事を生かすために】

本校が行っている特色ある体験活動について、「主な行

事等における道徳的なねらい」一覧を作成し、行事等での道徳的なねらいと関連する内容項目を明らかにした。実施計画には、道徳的なねらいや留意点を明記し、ねらいを意識して行事を行うようにした。学校行事後、「美中夢ノート」への記入や毎週木曜日に実施している「聴こう話そうハートタイム」での振り返りにおいて、関連価値につながるような働きかけを行い、道徳的価値を広げたり、深めたりするようにした。



で語り合う時間の設定をした」と考え、「私たちの道徳」を活用して、週末に各家庭で「家庭でハートタイム」の実施を依頼した。さらに、保護者・地域関係者の「道徳の時間」への「参観」から「参加」という取組を行った。

三 研究の成果と今後の課題

授業モデルの構築や資料検討会の実施により、ねらいを明確にした授業の展開がしやすくなった。ただ、教師のねらいとする価値の理解や発問の作り方についてさらなる研鑽が必要である。

ねらいを明確にした行事を実施することで教師の指導が変わり、「美中夢ノート」や「聴こう話そうハートタイム」での交流・振り返り活動が充実してきた。しかし、「道徳の時間」との関連をさらに図っていく必要がある。

保護者や地域の方の授業参加や「家庭でハートタイム」の実施により、家庭や地域での道徳教育の在り方について啓発ができた。ただ、家庭や地域を巻き込んだ道徳教育を継続させることの困難さが課題として考えられる。

【家庭力・地域力の活用】

学校通信や学級通信、学校通信番外編心の通信等の各種通信を発行した。また、人間の生き方などについて、家族

平成24年度版中学校国語教科書準拠 指導者用

光村「国語デジタル教科書」1～3年 各65,000円+税

平成24年度版中学校英語教科書準拠 指導者用

光村「COLUMBUS 21 デジタル教科書」1～3年 各75,000円+税



光村図書

〒141-8675 東京都品川区上大崎 2-19-9  
Tel 03(3493)2111 (代表)  
www.mitsumura-tosho.co.jp

好評の『新版学校教育辞典』を11年ぶりに大改訂!

第3版 学校教育辞典 ●定価: 本体8,000円+税

学校教育全般に関する重要語句 2214項目を  
1冊に収載した、教師・研究者必携辞典

教育出版株式会社

本社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-10  
四国支社 〒790-0004 松山市大街道3丁目6-1 岡崎産業ビル5F  
TEL: 089-943-7193/FAX: 089-943-7134

ふるさとスケッチ

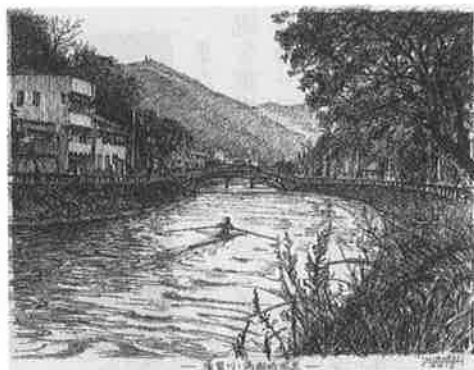
No.377

須賀川・満潮時風景



北中 兵頭 浩章  
宇和島市 北中城論

須賀川は宇和島市を流れる二級河川です。普段は水量が少なくゆったりと流れていて海に近い城北中の校舎横は、海の満潮時の上限になっています。生徒たちもこの川沿いを、四季折々の変化を楽しみながら登校しています。高校時代ボート部の練習



で、和霊神社の太鼓橋の下から住吉小の手前までを利用して千メートルの計測をしていました。あの頃汗を流していた川の土手を三十年後に毎日通勤するようになるとは思議です。

ご冥福をお祈りします

訂正	三月号の訃報欄で「大内壽美子様」とすべきところを「大西壽美子様」と誤記しました。お詫びして訂正いたします。	
河野重雄様	103歳 今治市大西町宮脇甲一二五	27.2.3
中川諭様	79歳 西予市宇和町れんげ四六五二	27.2.4
野首恒明様	83歳 東温市南方四九一三	27.2.7
印南秀克様	87歳 新居浜市垣生一六二二	27.2.7
大浦健二様	81歳 松山市正円寺二丁目三五	27.2.7
上甲智健様	85歳 西予市宇和町新城二四	27.2.10
新山孝男様	87歳 松山市東垣生町五八	27.2.11
光宗嘉子様	84歳 松山市新石手甲七〇一	27.2.13
池内孝男様	85歳 松山市余戸南一丁目七二七	27.2.15
清家護子様	81歳 西予市宇和町伊賀上二六六	27.2.16
富永経子様	80歳 西条市神拝甲二五二	27.2.17
関岡敏子様	87歳 西予市野村町富野川四七四	27.2.23
橋宏和様	80歳 松山市谷町三三二	27.2.25
土居明広様	46歳 今治市河南町一四二	27.2.27

愛媛の教育を語る会

去る二月一七日(火)、文教会館で愛媛の教育を語る会を開催した。最初に愛教研究部長である内宮中学校山地校長から「確かな学力の定着と向上を通して」というテーマ

で提言があった。県教育委員会から自校が指定された学力向上推進校としての取組や学力向上に成果をあげている秋田県を視察した内容を中心に具体的な方向性が示された。参加者から本県の子どもたちの学力の実態や教育現場での

第四十二回愛媛県教育会俳句募集

協賛 愛媛県中学校生活協同組合連合会

- 一 募集期間 平成二十七年八月十九日(水)～十月二日(金)
  - 二 一般の部 (応募資格は、県内在住の成人)
    - ◇投句数 雑詠一人二句まで (二重応募不可)
    - ◇応募 はがきに、俳句・住所・氏名・電話番号を楷書で記入。
  - 三 ジュニアの部 (応募資格は、県内の小・中学生)
    - ◇投句数 一人一句 (二重応募不可)
    - ◇応募 学校で一括して応募。左記様式(A4用紙)で、下学年から順に小一、小二…と記入。
- ※欄は空欄とする。

第四十三回愛媛県教育会俳句応募作品 ◎◎市立◎◎小中学校

※※	応募俳句作品	学年	児童生徒名
2			
13			
2			
5			

愛媛県教育会のホームページ「お知らせ」俳句募集に様式あり。 応募先 〒七九〇一八五四五 松山市祝谷町一丁目五一三三 愛媛県教育会 俳句募集係

五 表彰・発表

◇特選二句、優秀、佳作若干句。  
◇一般の部特選・優秀句に賞状、記念品、佳作に賞状を贈呈。ジュニアの部入選者に賞状・記念品を贈呈。

◇入選句は、「文教月報十二月号」、本会ホームページ等に掲載。 備考 応募俳句は有季定型句とする。

ガソリンカード ご入会のおすすめ 学校生協

学校生協ではエネオス(全国約13,000か所)と、コスモ石油(全国約3,500か所)の2社とガソリン事業の提携を行っております。カード会員価格にて全国の給油ステーションでご利用頂けます。毎月更新の給油価格は、愛媛県学校生協HPにてご確認下さい。

お問い合わせは 愛媛県学校生協同組合連合会 電話 (089) 925-0555 または 郡市学校生活協同組合

工夫、現在求められている活用力を育てるための授業改善等、それぞれの立場から意見が述べられ、課題や問題点が明確になった。最後に県教育委員会客野係長から無答率が減じたことやB問題への対応力が伸びたことなど取組の成果とともに、本県の課題である家庭学習の定着や基礎・基本の一層の定着等に取り組みでほしいとの助言があり、有意義な話し合いとなった。(詳細は教育会ホームページに掲載)